

伊勢半グループ創業 200 周年を記念する小町紅
昭和のクラシカルな口紅をリデザイン

小町紅 クラシカ / cream / mint / violet (全 3 種)

2025年6月25日(水) 発売

各 38,000 円 (税込 41,800 円)

株式会社伊勢半ホールディングスは、2025年に創業 200 周年を迎えました。この節目を記念する小町紅として、2025年6月25日に「小町紅 クラシカ / cream / mint / violet」(ケース色全 3 種)を発売します。

小町紅は、江戸時代の製法そのままに、紅花の花びらから赤色色素を抽出して作る日本の伝統的な口紅です。紅筆や清潔な指に水をつけて、玉虫色に輝く紅を溶き、唇に塗布します。

創業 200 周年を記念した小町紅は、伊勢半がこれまで生み出してきたヒット商品から 1950 年に発売した「キスミー特殊口紅」のケースデザインを採用し、アレンジしました。昭和レトロ感がたまらないクリーム、ミント、バイオレットの色は、10 色以上展開されていた当時のケースカラーの中から選んでいます。

クラシックな可愛らしさに心を揺さぶられるデザインが、紅を点すひとときを、更に特別なものへと演出します。

※口紅の色は一色です



(手前から) 小町紅 クラシカ cream / mint / violet (全 3 種)

※奥のスティックタイプは、参考資料「キスミー特殊口紅(繰り出し式)小」1950~1964年 紅ミュージアム蔵

【商品紹介】

小町紅 クラシカ (こまちべに くらしか)

38,000 円 (税込 41,800 円)



1950 年に発売した「キスミー特殊口紅」のケースデザインを小町紅の紅板（携帯用ケース）にリデザイン

(左から)

小町紅 クラシカ /mint
小町紅 クラシカ /violet
小町紅 クラシカ /cream

- ・サイズ 縦 33×横 52×厚さ 14mm
- ・使用目安 20 回程度（口紅として）
- ・成分 ベニバナ赤
- ・容器材質/形状 金属製/紅板（ミラー付、リフィル交換式）



リフィルを入れ替えて使える
ミラー付き



側面に昭和中期に使われていた
「Kiss Me」のロゴが入る



裏側には 200 を表すギリシャ文字の
「σ」をデザイン

【商品 関連情報】



キスミー特殊口紅（繰り出し式）

昭和 21 年（1946）に発売した「キスミー特殊口紅」は、主成分にひまし油を使い、ラノリン、ネオスクワレートを含有し、発色、のび、つきが良いだけでなく、唇の荒れにも効用がありました。キャッチコピーに「口唇に栄養を与える」を掲げると、戦後の食糧不足で「栄養」という言葉に敏感だった女性たちの関心を捉え、伊勢半を代表する大ヒット商品となりました。発売当初は押し出し式でしたが、昭和 23 年（1948）に繰り出し式も発売され、工夫を凝らした容器デザインでリニューアルを重ねました。商品は大・中・小など複数展開されていたため、消費者自身が、自分好みのサイズや価格で選ぶことが出来ました。

【購入方法】6月25日（水）10時より販売開始

- 直営施設 紅ミュージアム 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1階
(6/23~9/28の間は月・火曜及び7/4を休館。通常は日・月曜及び年末年始、7/7を休館)
- Web通販 伊勢半 紅オンラインショップ <https://www.isehan-beni.co.jp>
- 電話通販 株式会社伊勢半ホールディングス TEL:03-5774-0296
(平日 10:00~17:00 土・日曜、祝日定休)

【小町紅の特徴】

- ・山形県で育った紅花を原料に、花びらから抽出する赤色色素のみで出来た100%天然素材のナチュラルコスメです。1825年の創業以来、変わらぬ秘伝の製法で手づくりしています。
- ・紅の玉虫色の輝きは品質の良い証とされ、水を含ませた筆で紅を溶くと、たちまち鮮やかな赤色に変化します。紅の量と紅を溶く水分の量や、塗り重ねる回数で濃淡の調整ができます。
- ・紅は油分を含まないため、唇にのせた時の感触がさらっとした軽やかな使用感です。
- ・一人ひとり異なる唇や肌の色を反映した自然な発色です。薄く塗ると、ベースの色から湧き上がったかのような血色感が加わります。リップはもちろん、チークやアイメイク、コントロールカラーとしても使用できます。



【使用方法】

紅筆（別売 税込価格 3,080 円）または清潔な指に、適量の水をつけ、端の方から紅を溶いて、唇や肌に塗布してください。

※ 水に触れた部分は赤く溶けだします。余分な水が入らないようにご注意ください。

※ 1回に5mm角ほどが使用の目安です。



画像の商品は小町紅 雪月花（金）

伊勢半ホールディングス（紅製造、販売） <https://www.isehan-beni.co.jp/>

2025年に200周年を迎えた、現存する最後の紅屋。文政8年(1825年)の創業より受け継がれる製法で、職人が手作業で紅花の花弁のみを原材料に紅づくりを続ける。東京の南青山には、紅や化粧の歴史と文化を伝える企業資料館「紅ミュージアム」を構え、紅を知り、体験できるスポットとして公開している。(入館無料)

商品に関するお問い合わせ先 株式会社伊勢半ホールディングス PR 担当 MAIL mail@isehan.co.jp
お客様お問い合わせ先 株式会社伊勢半ホールディングス 本紅事業部
〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 2階
TEL 03-5774-0296 (平日: 10:00~17:00 土・日曜、祝日定休)